

12月定例会 質 疑

12月定例会で提案された議案に対し、8名の議員が質疑を行い、内容や目的など説明を求めました。主なものを紹介します。

議案第69号 加西市協創のまちづくり条例の制定について

問 改正の目的と意味は。

答 個人の参加を促し、地域に住む女性や若者、各種団体、市外に住む加西市に関心や興味、想いを寄せる関係市民と連携協力することにより、やりがいや達成感、楽しさなどを共有しながら活動していくためです。

問 この条例を推進していく上で、現在考えている市のアクションや市民に期待することは何か。

答 条例では、まちづくりを進める上での基本施策として、地域団体の計画づくりのための情報提供やその実現に向けた支援、人材育成、情報仲介などを定義しています。



創造会議ごとに地域に応じた組織強化の支援などを継続実施すると同時に、創造会議のネットワーク化、学識経験者・地域アドバイザーなどの参画も考えており、今後も市の目指すまちづくりの姿、組織のあり方や地域への支援内容なども議論を重ねていきます。一方、市民や地域団体には、まちづくりの主体であると認識し、地域に積極的にかかわり、市外在住の関係市民と連携して取り組んでいただきたいと思います。

問 「地域の課題解決」とは、どういうことか。

答 少子高齢化や高齢者の足の確保、空き家対策など解決に至っていない課題の解決を意味しています。地域課題は非常に多様化、混在し、従来の個々の活動や地域住民だけの活動では解決が難しく、長期的な取り組みが必要なため、新たに条例に考え方を示しています。

議案第71号 加西市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

議案第72号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

問 現在、地方公務員法に基づく特別職非常勤職員、一般職非常勤職員、臨時的任用職員は、それぞれ何名いるのか。

答 令和元年10月1日現在、特別職非常勤職員は156名です。職種としては、特別顧問、地域おこし協力隊、学校薬剤師、学校評議員、統計調査員、学校医、学校歯科医です。一般職非常勤職員は81名で、嘱託職員がこれに該当し、週29時間のパートタイムです。職種としては、事務、保育士、調理員、医師です。臨時職員は420名（うちフルタイム187名、パートタイム233名）です。パートタイムの臨時職員は、事務2名、保育士・幼保教諭36名、調理員34名、保健師2名、看護師25名、その他134名です。

問 他市では令和元年9月に条例提案されているが、加西市では組合との協議を踏まえての上程となっている。当初の提案から改善とのことだが、どうか。

答 組合との協議で一番のポイントになったのが幼保職場のフルタイム労働です。当初はパートタイムでの協議でしたが、現状を鑑み、フルタイムで最終合意しました。また、賃金も現行の水準の維持で合意しています。



問 財政負担の面では1億566万円の負担増となっているが、今後の課題は。

答 各自治体の自主財源の中で手当てしていくということで現在取り組んでいます。一方で、各自治体の財政負担に対する国の支援も考えていただく必要があると考えています。

議案第74号 加西市農業共済条例を廃止する条例の制定について

問 兵庫県農業共済組合に一本化することのメリットについて。

答 より専門性の高い的確な情報提供や説明ができ、農業者は最も有利な制度を選択することが容易になります。また、安定的な事業運営基盤の構築と十分な危険分散のもと、掛金水準が急騰するリスクが軽減されます。その他、事務経費のコストダウンなど多くのメリットがあります。



問 現在、農業共済事業の中で行っている損害防止事業は、県に一本化することでどうなるのか。

答 基本的には組合として県下統一の損害防止事業が行われます。しかし、現在、市独自の損害防止事業として実施している事業のうち継続を希望する事業については、積立金または業務引当金の合計額の範囲内で、最長3年間の実施が可能であると説明を受けています。

加西市では、病害虫の事故発生抑制のために水稻の病害虫防除に対する助成を行っており、この事業を継続したいと考えています。なお、家畜共済加入農家に実施している損害防止事業として、乳房炎防止用タオルや栄養補助剤の配布を行っていましたが、家畜共済勘定に未処理欠損金があるため、継続実施できない状況です。

